

今、この人に **いんたびゅう** Interview

プロバスケットボール選手(滋賀レイクスターズ所属)

キーファー ラベナ さん

「フィリピンを代表してプレーしている」という誇りを持って取り組んでいることを光榮に思っています。



■バスケットボールを始めたきっかけは?いつ頃からプロの選手を目指すようになりましたか?

父親がプロバスケットボール選手だったので、その姿に憧れたというのが大きいんです。子どものころからずっとバスケットボールが好きでしたが、成長するにつれその気持ちはどんどん強く深くなっていきました。それによって自分自身も成長できました。そして、いつかプロとして、バスケットボールを仕事にしていきたいという思いが出てきました。

■昨年から日本のBリーグに加入され、言葉や文化など、フィリピンとは異なる環境での新たな挑戦になっていると思いますが、良いこと、反対に困ることはありますか?

いつか日本でプレーしたいというあこがれを持っていたので、滋賀レイクスターズからこのようなチャンスをいただきとても嬉しかったです。アテネオ大学在籍時に日本でプレーする機会があり、来日は初めてではありませんでした。既に知っていることもあり、文化面ではそんなに困ることはありません。ただ、日常生活で使う言葉はかなり難しいですね。バスケットボールに関しては世界で共通の用語を使うので、あまり困らずに意思疎通が取れています。その点はラッキーですね。

■チームの中には、様々な国や文化、価値観を持った選手やスタッフがいるかと思いますが、コミュニケーションを図る上で意識していることはありますか?

世界中、どこにいても同じようにすると思いますが、まずは相手をリスペクト(尊敬)して、礼儀正しく接することを心掛けています。自分のことを認めてもらいたかったら、まずは相手のことを敬うことが大切だと考えています。両親にもそのことを意識するように言われて育てられたので、私の中では当たり前のことなのですが、それがとても良かったと思っています。

■12月に東京のフィリピン共和国大使館を表敬訪問されたそうですね。日本全国には28万人、滋賀県にも2,600人を超えるフィリピン人の方々(※)が生活しています。バスケットボール以外のつながりで、フィリピン人やコミュニティとのつながりはできましたか?

また、日本で生活されているフィリピン人の皆さんにキーファー選手から伝えたいことはありますか?

日本に住んでいるフィリピン出身の皆さんからは、直接声を掛けてもらったり、メッセージをいただいたり、SNSでもたくさん応援や励ましのメッセージをもらっています。

家族全員で応援に来てくれたこともありました。また、滋賀県だけでなく、東京や大阪、京都などの大都市をはじめとした各地で応援をいただき、どこへ行ってもサポートしてもらっていることを大変うれしく思います。また、日本で生活されているフィリピン人の皆さんがコロナ禍でも頑張っておられるということを感じています。私は応援してもらうことが多いのですが、逆に私も皆さんを応援したいと思っています。お互いに応援あいましょう!

※「滋賀県の国籍別外国人人口について(2021年12月末現在)」(滋賀県国際課調べ)より抜粋

■弟のサーディ ラベナ選手も一昨年からBリーグの三遠フェニックスに所属され、昨年10月には直接対決も実現しました。特別に意識することはありますか?

特別な意識はしていませんでした。ただ、一番良かったのは、兄弟で海外のプロバスケットボール選手となり、そして試合で対戦できたことが、フィリピンの人にとってもまた家族にとっても誇れる大きな出来事になったと感じています。

■キーファー選手がバスケットボールを通じて伝えたいことは何ですか?

フィリピン人の若い人の中には将来はバスケットボール選手になりたいという夢を持っている人たちがたくさんいます。私が今まで培ってきたものを使って、自分のようにバスケットボールをもっと好きになってもらえるようにサポートしていきたいと考えています。

■今後の自身の目標を教えてください。

以前から日本でプロ選手としてプレーしたいという目標がありました。それは滋賀レイクスターズに加入することで達成できました。次は、できるだけ長く滋賀レイクスターズの選手としてプレーしたいですね。滋賀では皆さんがとても歓迎してくれて、非常に嬉しく思っています。

▲琵琶湖に非常に愛着があります。私はフィリピンのイロイロ州出身なのですが、そこは水(海)に囲まれている風景です。滋賀県の琵琶湖の風景が故郷の風景に似ていて、まるで自分の家の近くにいるような気持ちにさせてくれますね。

● プロフィール ●

1993年フィリピン・イロイロ州生まれ。アテネオ・デ・マニラ大学卒業後、セミプロリーグでプレーした後、NBA Gリーグのテキサス・レジェンズとデベロップメンタル契約を経て、2017年にABL(ASEANバスケットボールリーグ)のアラブ・フィリピンズでプロデビュー。その後、PBA(フィリピンのプロリーグ)のロードウォリアーズを経て、2021年に滋賀レイクスターズへ。2026年から始まる新B1リーグ参入を目指していくためにも重要な存在と位置づけられている。フィリピンの国民的スター選手として注目されている。

■読者の皆さんへメッセージをお願いします。

日本にいる弟や同胞と共に、「フィリピンを代表してプレーしている」という誇りを持って取り組んでいることを光榮に思っています。ですから、外国人選手として、もっと日本の文化を知り、学んでいきたいと思っています。もちろん試合には、たくさんの方に観戦してもらいたいのですが、一人でも観に来てもらえるのであればそれは自分にとって励みになります。コロナ禍ですが、ぜひ試合会場に足を運んでください。皆さんと直接お会いしたいです。



滋賀レイクスターズの 滋賀での試合スケジュール

会場:ウカルちゃんアリーナ

- 4/6(水) vs. 琉球ゴールデンキングス
- 4/9(土)・10(日) vs. 大阪エヴェッサ
- 4/27(水) vs. 広島ドラゴンフライズ
- 5/4(火)
vs. 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
- 5/7(土)・8(日)
vs. 信州ブレイブウォリアーズ